

# 磐城の民聲

發行日、十一月廿一日(毎月三回)  
編輯兼發行印刷人 北川 秀雄  
發行所 福島縣平南町七十八番地  
廣告料 五號十二字詰 一回 五十錢  
一部十錢 一ヶ月二十錢 送料五厘

平町  
釜屋商店  
電話 九九番

### 眞に町財政を考慮せば 第四小學校新築の實現を期せ!! 一時の彌縫策は 町將來に 一大禍根を残さん

第三小學校増築反對第四小學校新築實現運動は去る十六日催された關係區南町鍛冶町、材木町の區民大會と同時に發表されし聲明書によつて町民に多大の感銘を與へつゝあるが今その理由とする所を詳述せんに：  
一、昭和八年度に於ける各學校の學級編成は  
イ、第一校は教室二十四に對し二十六學級  
ロ、第二校は教室二十四に對し二十八學級  
ハ、第三校は教室十二に對し十五學級  
にして何れも特別教室使用を以て補充する以外に道なき状態である  
尙昭和八年度は前記  
九年度 六十九學級  
十年度 七十二  
十一年度 七十四  
十二年度 七十六  
八十の豫定數である

しての町民負擔は二萬五千圓に過ぎず従つて町當局の所謂町民負擔の過重町財政難は聊か誇大に過ぎ徒に町民を悲觀に導くものである  
一、而も昭和三年度町會に於て第三小學校の建設問題が論議され東部南部に各候補地を朴し其の實現を期して譲らざりし時町會は自治体の紛糾を憂慮し慎重協議の結果七月全會一致を以て  
一、第三小學校は昭和五年度新學期迄に十二學級の校舍を正月町に建設すること  
二、第四小學校は南町裏方に新築の豫定地を選定し五千四百坪以内の土地を買収し昭和五月より新築に着手すること  
二條項の議決をなし圓滿裡限度十八學級九萬一千圓を以て新築し第三校増築を以て新築したる時第三小八千圓を金利に充てれば學校の増築は一時の彌縫策差程の問題なく町財政上であるのみならず、先きの議決を無視し、徒らに町財政の難に藉口しての立策と考へ兒童教育を思はば斷無萬三千圓の内水道課經常第四小學校を新築すべしと費を控除したる四萬六千圓を前記繰入れれば租税と

### 再度反省を促す

### 關彰平支店へ

百の計畫一の實行に若かず  
火に危険なき油斷じてなし

本紙前々號に於て關彰平支店の對しその營業用油の保以て再度反省を促すべく筆を執りて不完全延いては硯を持つて迫るを甚だ遺憾存法極めて危険甚だしくとすれど  
町民極度の不安に怖ゆるを慮り嚴重なる反省を促すと商店に於ては  
其に適當なる防備方法構せ「来るべき機會に於て完全んことを平三萬町民にはなる油倉庫を設けるの計畫つて希望せしことは讀者各あり」  
位の記憶に未だ新なる所「店頭に備ふる油は危険な然るに以來滿二ヶ月静かにその成行を監視し居たりしかその取りたる行動は如暴言これに過ぎたるものあり」  
僅かに横町通りの空家に無はんに「百千の計畫を立てるに過ぎず、而も却つても結局腹の中の肥料倉の中板一枚園ひの一町日本通りの店補次の個所には以前にも増して疊々たる充滿せる油増して疊々たる充滿せる油の推積せしが通行人を火難ありし時何を以て平實行に移らざるに先だ從來石城郡内に於ける鐵機漸く具体案の成立を見去る業者及是れが従業員を抱二月十一日紀元節の吉辰を有する組合組織の必要を叫朴し磐城鐵工機械同業組合を組織せしむるが幹部に人の名の下に確立され組合長を得ざる故か常に有名無實に河田梅吉氏滿場一館推選に終るもの多き遺憾と受諾し此處に永年の懸案可されたりしが此の程慎重な決を見た、因に河田氏は白熱慮研究を重ねたる結果銀町に工場を有し斯業界の

本紙前々號に於て關彰平支店の對しその營業用油の保以て再度反省を促すべく筆を執りて不完全延いては硯を持つて迫るを甚だ遺憾存法極めて危険甚だしくとすれど  
町民極度の不安に怖ゆるを慮り嚴重なる反省を促すと商店に於ては  
其に適當なる防備方法構せ「来るべき機會に於て完全んことを平三萬町民にはなる油倉庫を設けるの計畫つて希望せしことは讀者各あり」  
位の記憶に未だ新なる所「店頭に備ふる油は危険な然るに以來滿二ヶ月静かにその成行を監視し居たりしかその取りたる行動は如暴言これに過ぎたるものあり」  
僅かに横町通りの空家に無はんに「百千の計畫を立てるに過ぎず、而も却つても結局腹の中の肥料倉の中板一枚園ひの一町日本通りの店補次の個所には以前にも増して疊々たる充滿せる油増して疊々たる充滿せる油の推積せしが通行人を火難ありし時何を以て平實行に移らざるに先だ從來石城郡内に於ける鐵機漸く具体案の成立を見去る業者及是れが従業員を抱二月十一日紀元節の吉辰を有する組合組織の必要を叫朴し磐城鐵工機械同業組合を組織せしむるが幹部に人の名の下に確立され組合長を得ざる故か常に有名無實に河田梅吉氏滿場一館推選に終るもの多き遺憾と受諾し此處に永年の懸案可されたりしが此の程慎重な決を見た、因に河田氏は白熱慮研究を重ねたる結果銀町に工場を有し斯業界の

### 磐城鐵工機械同業組合確立

去る二月十一日紀元節の佳辰を卜して  
滿場一致組合長に河田梅吉氏推選さる

本社は舊臘十一月半突如本上に於ける識別及び集會士を襲ひたる颶風により郡等に兎角不便を來しつゝ、あつたに惨出せる水難犠牲者を見聞是れが緩和と方法と下各濱に惨出せる水難犠牲者を見聞是れが緩和と方法と者慰族遺問の一端として音して此の程白色エナメル塗樂舞踊大會を開き大方各位杖百本を作成内三十本を訓の理解ある應援により應分官院に四十五本を平町町會の慰問金を贈呈し江名、豊組合に二十五本を平町町會の間、四倉、小名各地より懇談所に寄附正月一日より篤なる謝意を表されしが此一齊に使用せるが從來の不程社長齋藤岳洞氏は平町便も一掃され近來の美譽と在任の盲者不具者の使用なして推賞されつゝある。  
す杖の大小長端一定せず途

### 小名濱二業保健組合

大まとい  
組合長 赤津信吉  
相馬屋  
副組合長 木幡直  
會計 鈴木三之助  
評議員 相澤寅松  
柳澤今朝吉  
大澤 奇  
衛生組長  
上遠野藤彌  
衛生係  
小松 力  
馬上岩吉  
上遠野 豊  
曾我留次郎  
坂本庄藏

### 借權取立

貸金手形  
賣掛地代  
其他請求金一切  
買受又ハ金融可  
費用負擔成功報酬  
平町南町七十八番地  
法律相 榮商事  
談無料

常磐材木製材業界の覇者

# 大秋山市造商店

植田町 電話六二二番

## 營業種目

材木、製材 建築請負

今や經濟界は、かけ聲のみ所謂インフレ景氣のあふり立てを喰ひど、一般社會層は何等直接その根底を撼み得ず以前として五里霧中極度の沈滞萎縮裡に僅かに時の流れを見守るのみ……かく灰色にも似た世相の中に突如開くも朗らかなニュースが植田町の一角より齊らされ眠れる地方民は異状のショックを興へられた。それは常磐材木製材業界に特異の經營法を以て鳴りこの不況時に於ても何等の支障さてつなく宛然天馬空を行



落成七週年紀念事業としてとてしと業事念記年週七業開落部一の舖店



氏造市山秋

の概を以て躍進又躍進を續けつゝ、ありし秋山市造商店が遂に昭和八年新春壁頭開業七週年を記念する意味に於て宏壯なる家屋を新築移轉面目を一新すると共に此處に斯業界制覇の第一歩を強く印したことである。然しながら氏の現在たるや

例へに漏れず決して平々垣田町に重きをなし今日まで々たる道を歩み來たつたの功績と潛勢力は實に偉大ではない、本紙前々號掲載なるものあり、次期町會議せる如く身士族の子弟と生員としての有力なる候補者れながら大正十五年單身會たるは勿論本年度に於ける津若松の郷關を出で植田町氏の活躍こそ衆人刮目の焦點である。

に姿を現はし爾來今日まで荆多き人の世の逆境を血みどろの汗と努力とによつて打開して來たのである。實際現在に於てすら朝に早をいたゞき夕に月を負ひ、而も顧客の心を以て心とし、數多従業員の心を以て亦己が心とし、孜孜として倦む處を知らざるもの、如き氏の姿こそ無言裡に眞の氏の全面貌を雄辯に物語つて居るではないか、氏は又隠れたる民政黨の闘士として植

町 冶 鍛 町 平  
院 醫 科 齒 原 萩  
雄 義 原 萩

平町青年團長 多田井笑次郎

植田町藝妓置屋組合

新任挨拶

片倉磐城製糸株式會社

所長 山本 薰

小名濱町 小野 晋平

消防組頭 松本 徳次郎

好間村 消防組頭 叫田 清

病院従業員内容の充實と 献心的努力とに

## 面目一新せる

### 磐城共濟病院

私情と利害關係相伴はざる共と最後の審判は或一派の爲にせん爲の策極めて簡明であつた、動惡宣傳の渦中に投じられ見よ最近に於ける同病院は……將又病院經營一部組織の英斷的改革によつてか……責任者たる者の無能なるり社會の疑惑を一掃而も院故を以てか……知らず……長石山博士指揮の下に從業員は小使に至る迄病院創立の責任を以て自ら眼視され本來の趣旨に基く疾風迅來の創立當時の明りを失つた行動は接患者、對する懇て居たことは事實である切切と相俟つて盛價隆々共に識者の等しく憂慮せざるを以てして擧り郡下に於ける大所であつた。病院としての面目一新此處祈ると。……

小名濱町カフエー業組合

電機諸機械

田邊商店

平町驛前 電話二九四番

佐藤齒科醫院

佐藤 武之

平町四丁目 電話五〇八

木村外科醫院

外科一般 花柳病専門 入院應需

## 磐城共濟病院案内

院長 石山 謙郎

(自宅) 電話一二四番

- 内科 醫學博士 石山 謙郎
- 小兒科 醫學博士 佐久間 粹郎
- 外科耳鼻咽喉科 醫學博士 桂 重次郎
- 喉科皮膚科 醫學士 有馬 勇二郎
- 産婦人科 醫學士 五十嵐 雄二
- ×光線科 醫學博士 佐久間 粹郎
- 衛生試驗所 醫學博士 石山 謙郎
- 藥局 藥劑士 高石 利雄
- 診察時刻 午前八時より午後五時迄

平町磐城共濟會 電話六四一番

◆内科一般◆  
醫學博士 陸波 難  
平町大町 電話二〇五番

黒猫

平町銀座通り 電話六七九番

おでん 江戶前御料理 杵壽し